

頼れるドクター

おかげさまで
15周年

特集1 健康を支える身近な存在

地域に根差した
クリニック

特集2 患者のための配慮がうれしい

院内づくりに
工夫があるクリニック

“みんなのかかりつけ医事情”大調査

腸の健康が全身の健康につながる！

腸マネジメントライフのすすめ

マスク生活で増えた

お口トラブルのオーラルケア

2022-2023版

私たちの街のドクター

171名

使い分けよう！病院とクリニック

地域の病院紹介

- ・ 関東中央病院
- ・ 玉川病院
- ・ 横浜労災病院

気になる医療情報を徹底取材

乳がん検診、高血圧、MRI 検査、
舌下免疫療法、歯周病、
インプラント治療

検査・治療レポート

Doctors File

ドクターズファイル 特別編集

物理的な刺激や全身性など原因はさまざま

口内炎

まずは知りたい！

口内炎とは

頬や唇の内側、舌、歯茎に発生する炎症性疾患です。原因はさまざまです。口の中を噛むことや、欠けた歯による物理的な刺激によるもの、金属のかぶせ物によるアレルギー反応もあります。また体全体が由来するものでは免疫力低下やストレスのほか、服用する薬の副作用により発症することもあります。ほとんどは痛みも軽く1週間程度で治癒に向かいますが、中には重篤な疾患が隠れていることもあり注意が必要です。



二子玉川OM歯科
クリニック

岡村 泰斗 院長

院長記事 P318

なぜ口内炎が発症するのでしょうか？

口腔粘膜への物理的な刺激や全身性の疾患のほか、食べ物や金属アレルギーなど原因は実にさまざまです。例えば降圧剤や抗てんかん薬などの薬剤の副作用で発症するケースや花粉症の人が特定の野菜や果物を食べた後、食べ物と直接触れた唇や舌、喉にかゆみや腫れなどが起こり、それが口内炎となるケースもあります。また気づかないうちに欠けた歯やかぶせ物、入れ歯の器具が頬の内側を傷つけていることも。全身性由来だと病気ではなくてもストレス、睡眠、栄養不足でも口内炎が発生するとされています。さらにヘルペスや接触・飛沫感染によるウイルス性のものやカンジダなどの細菌が原因となる場合もあります。そのため気になる症状があれば受診して、原因を特定することが大切です。

適切な診断と治療が大切
長引くときには放置せず
専門科の受診を

金属アレルギーが原因になることもあるそうですね。

歯科治療では、詰め物やかぶせ物、部分入れ歯のばねやブリッジ、矯正装置などさまざまな治療で金属が使用されています。中でもアレルギーの原因として比較的多いのは保険診療で使用されているパラジウム合金です。症状としては舌の一部がひりひりとする舌炎、唇全体が腫れる口唇炎や口角がただれる口角炎など、口の周りにも症状が現れることがあります。また、全身の一部分に皮膚炎が発生する場合もあります。手のひらや足の裏に水疱が生じる「掌蹠膿疱症」や「異汗性湿疹」も歯性病巣感染が主な原因とされますが、ごくまれに金属由来の場合もあります。歯科金属アレルギーは口腔内だけでなく全身にいろいろな症状が出ることもあるので、リスクがあることも理解しておいてください。



1なかなか治らない口内炎は歯科口腔外科での検査が重要に 2口内炎の原因には、歯科金属アレルギーもあるという

Dr.'s Advice

セルフケアの意識を持って
生活習慣の見直しを

軽く考えてしまいがちな口内炎ですが、どこを受診していいかわからず、そのままにしている人も多い疾患です。特に問題もなく治まればいいのですが、たまにがんなど重篤な疾患に発展する可能性もあり、軽く考えずに口腔外科診療の経験を積んだ歯科医師に診てもらってください。受診をきっかけに、ご自身の口の中をよく観察する癖を持ってもらえれば良いと思います。

Profile

岡村 泰斗院長

1997年東京歯科大学卒業。同大学大学院でオーラルメディスン学を修める。同大学市川総合病院オーラルメディスン・病院歯科学講座・口腔外科学の非常勤講師となり、若手歯科医師の臨床・研究指導のほか、専門である口腔粘膜治療で複数のクリニックを支援。2020年3月に二子玉川の地に歯科医院を開業。オーラルメディスンの視点から治療を行う。

口内炎はどのように治療を進めていくのでしょうか？

さまざまな原因が考えられるので、まず大切なのが問診です。歯の治療歴はもちろん、基礎疾患の有無や食生活、生活習慣まで聞き取ります。次に口腔内の状態だけでなく皮膚症状や薬剤による副作用はないかなど、全身の状態についてもさまざまな視点で診察します。また発症している部位を、口腔がんなどへ進んでしまう可能性に注意しながら拡大鏡で観察。もしもその可能性があるときには、病院で精密検査を受けてもらい鑑別診断します。同時にパッチテストや血液検査などで原因となっている物質を特定し、それが歯科治療に使用されている金属であれば取り除き、代替りの素材を用いて補綴治療を行います。

受診する診療科やそのタイミングも教えてください。

口内炎には多くのタイプがありますが、それらにかかわらず1週間程度で自然に治らないのであれば一度、口腔外科を専門とするクリニックを受診してみてください。内科を受診する人もいますが、口内炎は口腔内の疾患ですので歯科の診療領域です。口内炎は全身疾患との関連も深いので、口の中だけでなく全身との関わりまで診ている歯科口腔外科が適しています。最近では若い人に口腔がんが多く発症しており、患者数や死者数が増加傾向に。口腔がんは進行すると食事や会話ができなくなったり、手術によって顔が變形したりする恐れもありますから、口内炎がなかなか治らないときは迷わずに受診してください。

二子玉川OM歯科クリニック

で受けられる診療

口腔内のトラブルには全身的な要因がさまざまに関連することから、同クリニックではその医学的背景までを考慮した「オーラルメディスン」をベースに診断と治療を行っている。診察では食事や生活習慣のヒアリングなどの問診に力を入れるほか、パッチテストや血液検査により原因の特定に努める。金属アレルギー由来の口内炎と診断した場合には、保険診療でCAD/CAMシステムによるレジンのかぶせ物の治療も行っているが、「私のこれまでの臨床経験上、金属アレルギー由来はむしろ少ない印象。多くは物理的な刺激や生活習慣などが原因のものです」と岡村院長。今



▲患者一人ひとりと対話をしながら治療を進めていく

では効果が期待できる口内炎の治療薬も複数出ており、早期改善が望めるようだ。もしも重篤な症状になる可能性があれば、精密な検査が行える提携の大学病院を紹介することも可能だという。

二子玉川 OM 歯科クリニック

歯科口腔外科／歯科／小児歯科

岡村 泰斗 院長

Okamura Taito



1997年東京歯科大学卒業後、同大学大学院でオーラルメディスン学を修める。同大学市川総合病院オーラルメディスン・口腔外科学講座の非常勤講師となり、若手歯科医師の臨床・研究を指導。専門とする口腔粘膜疾患の治療で複数の歯科医院を支援。二子玉川の地で2020年3月開業。オーラルメディスンの視点から治療を行う。

オーラルメディスンを診療の軸にして 口の中から全身の健康を図る

令和2年、二子玉川駅から徒歩8分の、世田谷区玉川3丁目の中吉通り沿いに開業した「二子玉川OM歯科クリニック」。院長の岡村泰斗先生は口腔内と全身疾患の関連を重視したオーラルメディスンの治療を実践してきた。現在は気兼ねなく受診できる街の歯科医院として、虫歯や歯周病などの一般歯科治療の傍ら、口腔内のトラブルによって起こる全身症状に対しても地域の病院などの医科と連携しながら包括的な診断・治療を行っている。

「歯や歯茎を含めた歯周組織はもちろん、口腔内に炎症やがんを起すリスクがないか、そのトラブルによって全身に悪影響を与えることがないかまでを包括的に診断して治療を行うのがオーラルメディスン。口腔がんや口腔前がん病変などの緊急性を伴う疾患や、ヘルペスやカンジダ症などの感染症、口の中が乾くことで口臭の原因ともなるシェーグレン症候群、さらに閉塞性睡眠時無呼吸症候群など、診療領域は実に幅広く、必要と判断すれば内科や皮膚科、耳鼻咽喉科などの医科と連携しながら治療を行っています」

例えば顎の痛みで無意識に食いしばりを行っていると考えられる

編集部
eyes

雑談にも気さくに応じてくださった岡村先生。診療では治療する部位の話だけでなく、日頃から気になっていることも相談しやすい雰囲気をつくるように心がけているそうです。口腔内から全身に

わたって多くの医学的知見を持つ先生なので、「最近いびきがうるさいと言われる」、「唇にできものがある」などの悩みがあれば、気軽に質問できると感じました。



1 個室の診察室で、院長やスタッフに相談しやすい雰囲気だ 2 口腔外パキュームを設置している 3 先進のエックス線撮影機器を完備。検査から丁寧に治療を行う



4 患者と対話をしながら、治療を進めていく

場合には、顎のストレッチ指導やストレス解消のためのアドバイスなどを行う。他にも口腔内のトラブルには全般的な要因も関連するとの視点により、問診に時間をかけて原因を見つめることから全身の健康づくりをめざす。

訪問診療には歯科だけでなくさまざまな医学的知見が必要体制を整え注力していく

現在、代診の歯科医師や歯科麻酔専門の歯科医師も診療に携わっている同院。訪問診療へのさらなる注力を考えており、歯科衛生士や歯科助手などの体制を整えた後

頼れるスタッフたち



電話などの問い合わせ対応を含め、診療する上で院内の空気感をつくるスタッフの存在はとても大きいと語る院長。治療時は互いに背筋を伸ばして真剣に患者と向き合うが、それ以外の時間では気軽に相談し合える関係性を大切に。スタッフに高いモチベーションで生き生きと働いてもらえれば、良い院内環境をつくることができると考えているからだそう。現在は開業時から同院を支える歯科衛生士や、院長の専門分野である口腔粘膜疾患に興味を持ったことから東京歯科大学短期大学に通いながら勤務するスタッフが在籍。「さらに進化させた体制を予定しているので、そのための人材も必要です」と採用にも力を注ぐ。

には、その活動範囲を広げていく予定だ。

「訪問先の高齢な患者さんは歯や口だけでなく、いろんな基礎疾患を持つ方が多いですから、オーラルメディスンを軸として他の医科と連携している当院は地域ケアの枠組みの中でも十分に貢献できると思っています」

今ではコンパクトなエックス線機器や歯の切削、洗浄などができるポータブル機器がそろっており、一定レベルの外来診療と同じ治療が可能となっているそうだ。

歯科口腔外科では唇、頬の粘膜、歯槽、口腔蓋、舌、顎の骨、唾液

腺などを領域とする。その中でも長く口腔粘膜の分野を専門に診療してきた岡村院長は、口の中に起こるあらゆるトラブルに対応する。

「口内炎の中にもがん化の可能性を持つものがあり、それを早期に見つけるよう努めています。また自然に治癒する口内炎でも、そこにはさまざまな原因があります。受診がご自身の健康を見直す機会にもなりますので、軽く考えずに検査を受けてほしいですね」

同院は、これからも全身状態に配慮しつつ、患者の口腔内の健康に寄与していく。

DATA



Tel 03-6411-7614
Add 世田谷区玉川3-36-13
エクセラビル1F
Parking 無
Close 木/金/日/祝

	月	火	水	木	金	土	日	祝
10:00~14:00	●	●	●	—	—	●	—	—
15:30~19:30	●	●	●	—	—	●	—	—

Map P299 A-3 関連記事 P060

